

今年の冬は大雪の報道が各地で多く聞かれ、寒さもかなり厳しく感じられました。如何お過ごしでしょうか。

さて、昨年末からの新型コロナウィルス感染拡大の影響で、予定していた「権利擁護研修会」や「出番ですよ！お父さん事業」などが中止となってしまいました。3月上旬まで継続されたまん延防止の措置ですが、早く落ち着いて新たな年度を迎えたいものです。このような中、今年度実施できた活動で、本人部ひまわりの会及び研修会・相談会開催事業についてご報告します。

本人部会ひまわりの会活動



今年度は6/19(土)に第1回ひまわりの会を開催して、今後の活動予定について話し合い、野外コンサートの実施などを決めること

ができました。

11/13日(土)なかが和苑に集合し昼食の後のよろこびの森において野外コンサートを開催することができました。晴天に恵まれ岡倉先生・黒須先生の歌や演奏、そして参加者も加わって打楽器演奏と秋を感じる自然豊かな森のなかで楽しく過ごすことができました。



11/28日(日)第2回ひまわりの会を開催して、スポーツ教室や全国Web本人交流会などの実施しについて話し合いを行いました。

1/9(日)全国Web本人交流会にひまわり会



長の木村敦子さんがオンラインで参加することができました。少し緊張気味の木村さんでしたが、全国各地から参加された皆さんにひまわりの会

の活動など絵顔で説明することができました。

2/12(土)宇都宮市サン・アビリティーズで予定していたスポーツ教室を3/5(土)に延期しましたが、新型コロナウィルスの感染拡大により中止となってしまいました。

今後、新型コロナの状況を踏まえながら第3回ひまわりの会の開催について検討を進めます。

「本人部会ひまわりの会」は、ご本人主体の集いです。多くの方の参加をお待ちします。仲間との体験をしてみませんか。

相談会・研修会開催事業から

今年度の県委託事業の相談会・研修会を3地区3会場で実施することができました。当初の予定は4地区4会場でしたが、新型コロナウィルス感染拡大により1地区が中止となってしまいました。実施に当たり、開催地区とも相談しながら育成会活動の課題となっている、高齢化・親亡き後、権利擁護、防災対策などについて講演会、その後の質疑応答を行いました。

★那須塩原市では10/3(日)健康長寿センターにおいて、発達障害の当事者でもある笹森理絵さんから「もうそろそろ話してもいい頃だよね～発達障がい当事者、家族、支援者の立場から」と題して、ご自身の経験や子育てを通して障害受容、困り感、自己選択・自己決定などについてお話をいただきました。当日は、対面とオンラインのハイブリッド形式で行われました。

★宇都宮市では12/1(土)とちぎ福祉プラザにおいて、全育連の又村あおいさんから「災害時における障がい者の防災対策について」と題してオンラインにより、災害とは何か、災害と福祉サービス、災害時における障害者の防災対策など関心の高い内容を分かりやすくお話しいただきました。また、意見交換では対面及びオンライン両方で質問が出されました。

★芳賀町では12/18(土)農業者トレーニングセンターにおいて、芳賀郡障害児者相談支援センターの石崎智さんを招いて「親亡きあとに向けての準備と本人支援について」の講演会を開催しました。講師の石崎さんからは、親亡き後の問題とは何か、その問題点と対策、親亡き後のためになど、相談支援に関わられているお立場から具体的な事例など今後の参考となる貴重なお話を聞くことができた。

★佐野市では1/18(火)とちのみ会地域交流ホームにおいて、あゆみ園の牧子晃那さんを招いて「きょうだい支援について～きょうだいにお話を聞いてみよう～」と題して講演をいただく予定でしたが、残念ながら中止となってしまいました。今後、佐野地区とも相談しながら次年度開催に向けて準備を進めてまいります。

なお、3地区の研修会に参加された皆さまは、是非他の会員さんに内容などお伝えいただければ幸いです。また、開催地区事務局など関係の皆さんにはご協力いただき大変お世話になりました。

＝ 編集後記 ＝

今年度も「かわら版」を4回発行することができました。ご覧いただいたの感想やご意見、ご要望など伺いたいと思っています。今後も身近な話題や関心事をお伝えできればと思っています。(事務局)